

令和7年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(7-2)

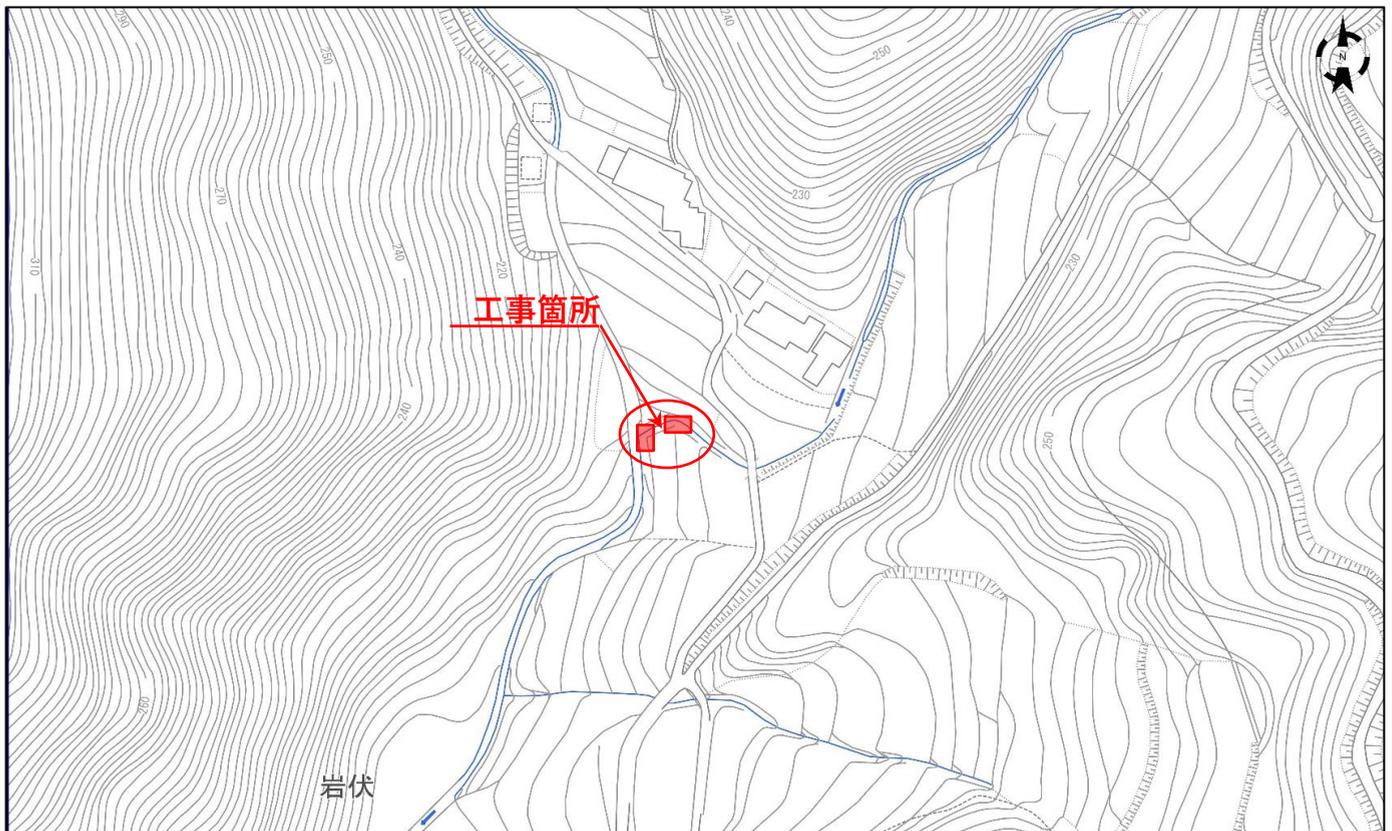
仕様書

施 工 場 所 東広島市安芸津町三津

【広域図】



【詳細図】



特記仕様書

(安芸津地区災害復旧工事 (7-2))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム (受注者希望型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法
10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法
11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
12. 法定外の労災保険の付保
13. 週休2日適用工事等
14. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 環境保全型ブロック

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関連する別途工事
 - (2) 関係機関との協議
2. 用地
 - (1) 現場の復旧
3. 公害対策
 - (1) 水替・流入防止施設
 - (2) 濁水・湧水処理
4. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
5. 工事用道路
 - (1) 仮設道路
6. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
7. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工

5. すりつけ工
6. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準）」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の

40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事实施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。
営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費
（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。

1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合
【土木施設災害復旧事業：9.19%】

2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合

【土木施設災害復旧事業：1.24%】

(3) 受注者は、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。なお、実施計画書には根拠となる資料を添付すること。

(4) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(5) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。

(6) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(7) 受注者から提出された資料に疑義の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法

建設資材及び仮設材については、調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達をせざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票の写し等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

「調達地域等」とは、建設資材にあつては、広島県土木工事設計資材単価表及び広島県農林土木用資材単価表で示す地区、又は地区の指定がない場合は広島県内を言い、仮設材にあつては、土木工事標準積算基準書（広島県）第X編 参考資料 第2章 工事費の積算 1)間接工事費 1)-1共通仮設費 1 運搬費

(4)リース器材 の運搬で示す仮設材が所在すると推定される場所又は大手リース業者基地等をいう。

11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

12. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

13. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

14. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」

については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外
	コンクリートブロック	J I S製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	

3. 環境保全型ブロック

(1) 受注者は、本工事に使用する環境保全型ブロックの製品選定においては、次に示す条件を満足する製品より選択し、その外観及び品質規格証明書等により事前に監督職員の承認を得るものとする。

なお、災害復旧工事において、当該現場で使用する環境保全型ブロック控50cmの調達に時間がかかる、又は困難な場合には、速やかに監督職員に報告し、対応について協議すること。

(選定条件)

1 : 0.4 控え500

・ 壁体重量 : 0.81 t / m²以上

・明度6以下

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 関連する別途工事

工事名	令和7年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (7-7)
影響箇所	仮設盛土撤去工 関連工事完了後
時期	仮設撤去時

(2) 関係機関との協議

施工時期、施工方法を関係機関等と協議を行い施工すること。

2. 用地

(1) 現場の復旧

工事用道路として使用した土地は、原形に復旧すること。

3. 公害対策

(1) 水替・流入防止施設

内容	掛樋工（本線：Φ500、L=20.0m）、（支川：Φ400、L=48m）を施工することを見込んでいます。
----	--

(2) 濁水・湧水処理

内容	濁水処理（仮締切）を施工することを見込んでいます。
----	---------------------------

4. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員	・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。
---------	---

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。
架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

5. 工事用道路

(1) 仮設道路

安全施設	出入口に柵を設置すること。
工事後の処置	原形復旧
維持管理内容	随時粉じん防止の散水、路面補修のため補修材を必要とする場合は別途協議すること。 (設計変更の対象とする)

6. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、19m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

7. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積

)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
(名称) 株式会社中岡建設リサイクルプラント
(所在地) 東広島市安芸津町木谷1218-7
(運搬距離) 7.3 k m

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工(任意)については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. すりつけ工

すりつけ工は現地との整合を確認し、施工方法及び数量を事前に監督職員と協議すること。

6. 工事の確認(農地)

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	岩伏川			
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m3	30	レベル4
盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土		m3	2	レベル4
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(切土部)	構造物背面部	式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	土砂	m3	160	レベル4
残土等処分	土砂	m3	160	レベル4
護岸基礎工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	土砂	式	1	レベル4
埋戻し	土砂	式	1	レベル4
法覆護岸工		式	1	レベル2
Coブロック工(Coブロック積)		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
大型ブロック積	コンクリートブロック積 ブロック積(空積)控長50cm	m2	22	レベル4
2号コンクリートブロック積	粗面ブロック	m2	14	レベル4
胴込(砕石)	割ぐり石 150~50mm	m3	6	レベル4
吸出し防止材(全面)設置	合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	m2	22	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m3	18	レベル4
天端コンクリート	1:0.4,控え500 ck=18N/mm2	m	8	レベル4
2号天端コンクリート	1:0.4 控え350 ck=18N/mm2	m	5	レベル4
調整コンクリート	1:0.4 ck=18N/mm2	m	8	レベル4
2号調整コンクリート	1:0.4 控え350 ck=18N/mm2	m	5	レベル4
基礎工		式	1	レベル3
現場打基礎	W=550, H=350 ck=18N/mm2	m	10	レベル4
2号現場打基礎	W=430, H=250 ck=18N/mm2	m	5	レベル4
護岸付属物工		式	1	レベル3
1号小口止工	B=300, H=3190 ck=18N/mm2	箇所	1	レベル4
2号小口止工	B=300, H=2950 ck=18N/mm2	箇所	1	レベル4
3号小口止工	B=300, H=2750 ck=18N/mm2	箇所	1	レベル4
4号小口止工	B=300, H=3180 ck=18N/mm2	箇所	1	レベル4
すり付け工	練石積 控え35cm	m2	16	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
平張コンクリート	ck=18N/mm ²	m ²	1	レベル4
雑工		式	1	レベル2
仮設盛土撤去工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m ³	100	レベル4
大型土のう撤去		袋	20	レベル4
仮排水管撤去		m	15	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
現場発生品運搬・処分		式	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
工所用道路工		式	1	レベル3
工所用道路盛土（斜路）		式	1	レベル4
工所用道路盛土（田地）		式	1	レベル4
敷鉄板		式	1	レベル4
石積復旧工		式	1	レベル3
石積復旧工		式	1	レベル4
土留・仮締切工		式	1	レベル3
大型土のう設置・撤去		式	1	レベル4
水替工		式	1	レベル3

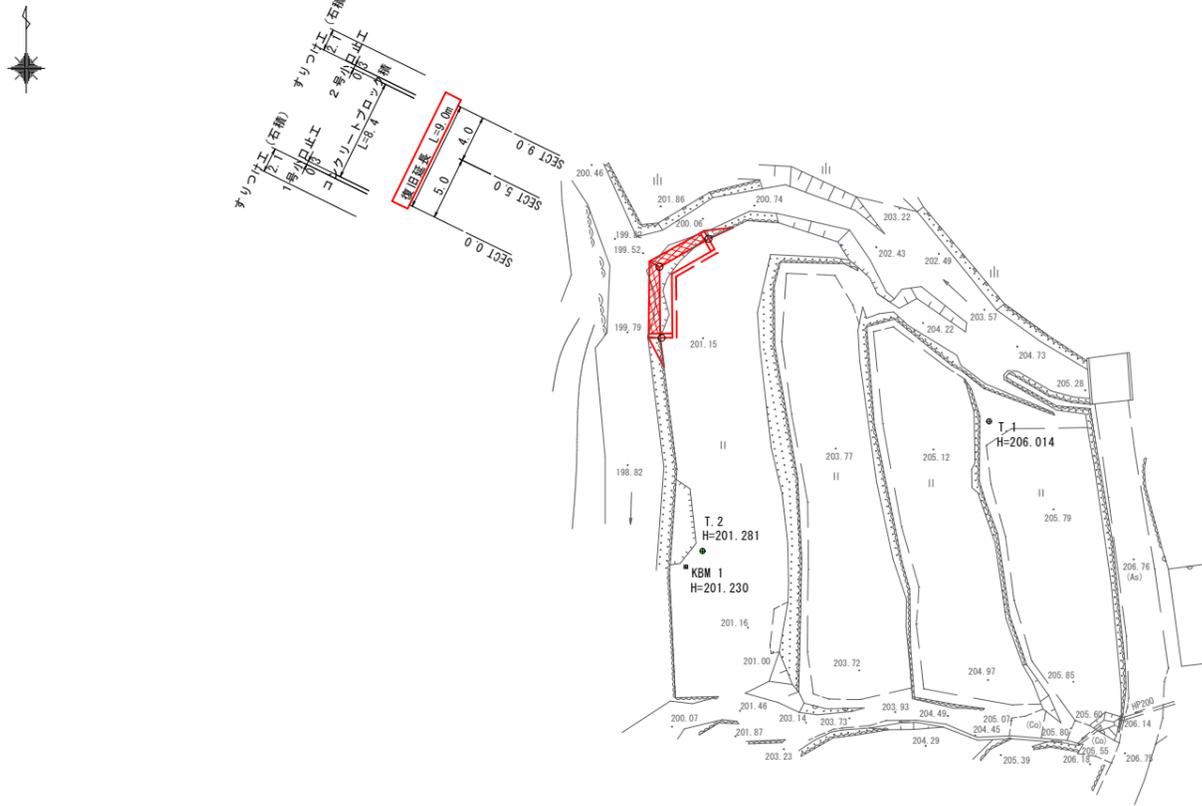
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポンプ排水		式	1	レベル4
仮水路工		式	1	レベル3
架橋工（支川）		式	1	レベル4
架橋工（本川）		式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	土砂	式	1	レベル4
残土等処分	土砂	式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

平面図 S=1:250



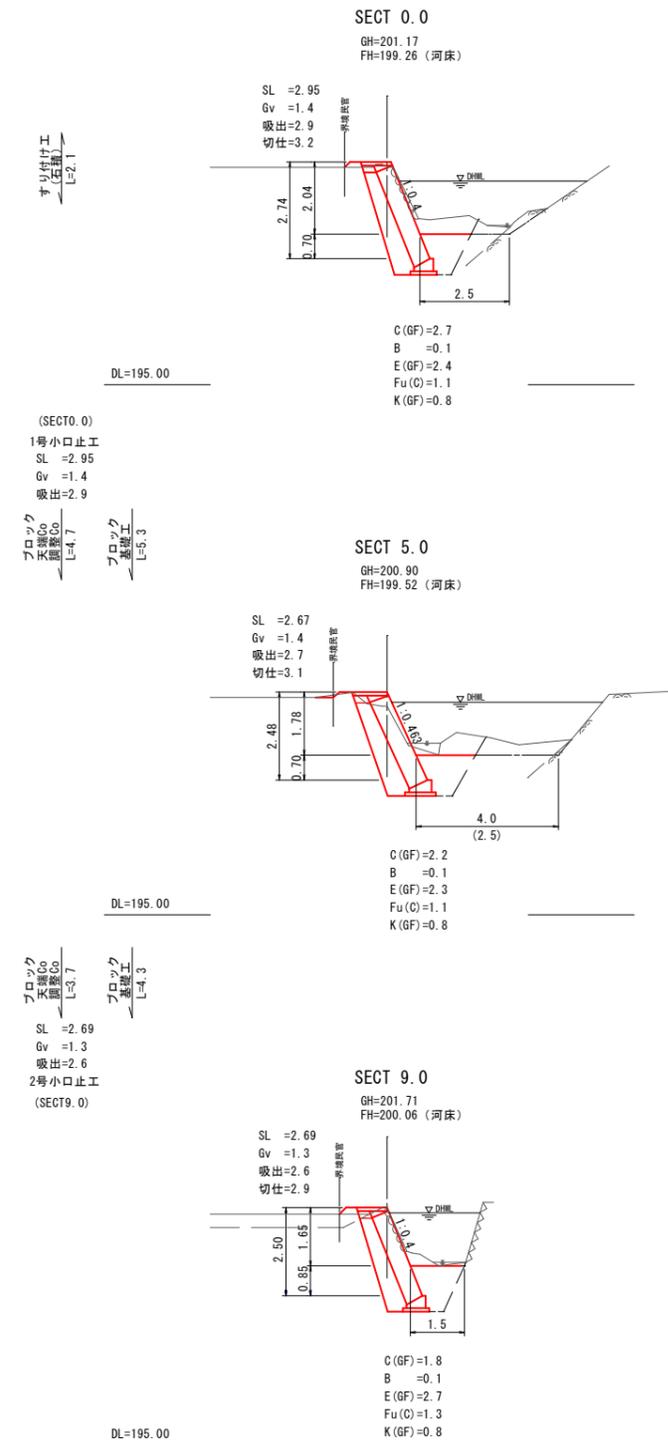
基準点座標リスト

点名	X座標	Y座標	標高
T.1	-181949.775	59700.783	206.014
T.2	-181958.948	59680.513	201.281

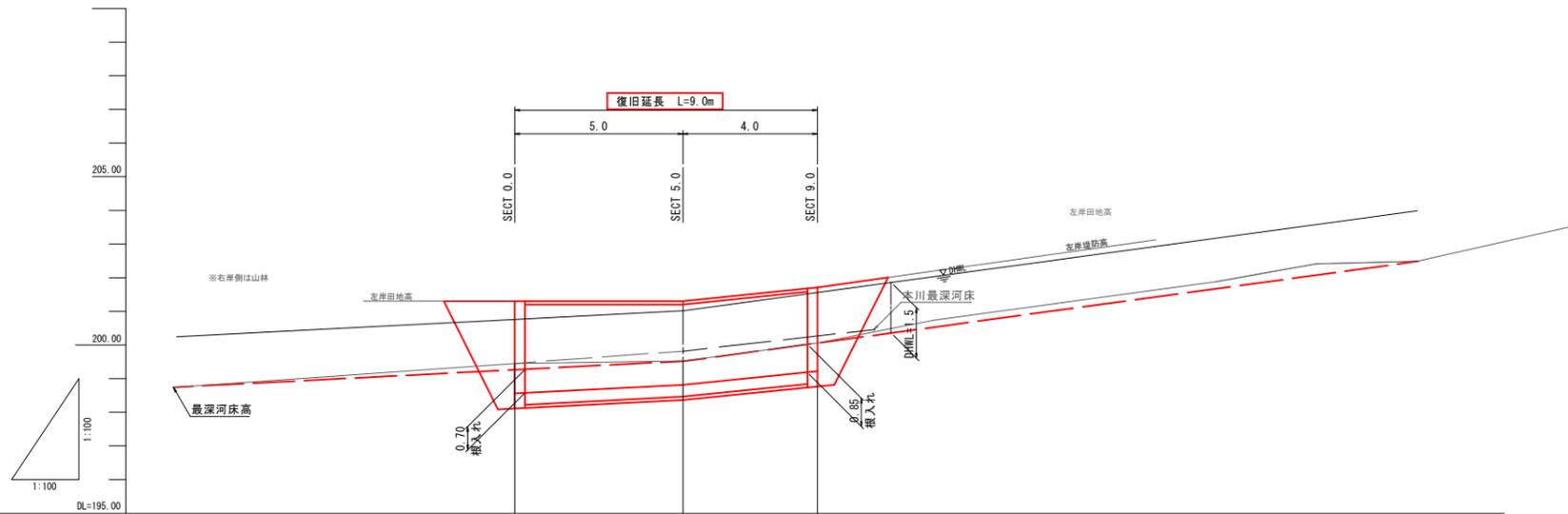
測点座標リスト

点名	X座標	Y座標	標高
SECT 0.0	-181943.871	59677.509	
SECT 5.0	-181938.861	59677.472	
SECT 9.0	-181938.868	59680.941	

横断面図 S=1:100



縦断面図 V=1:100
H=1:100

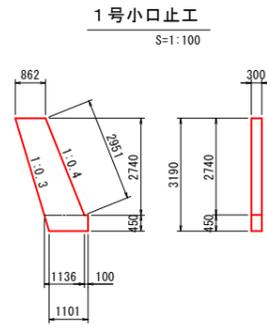
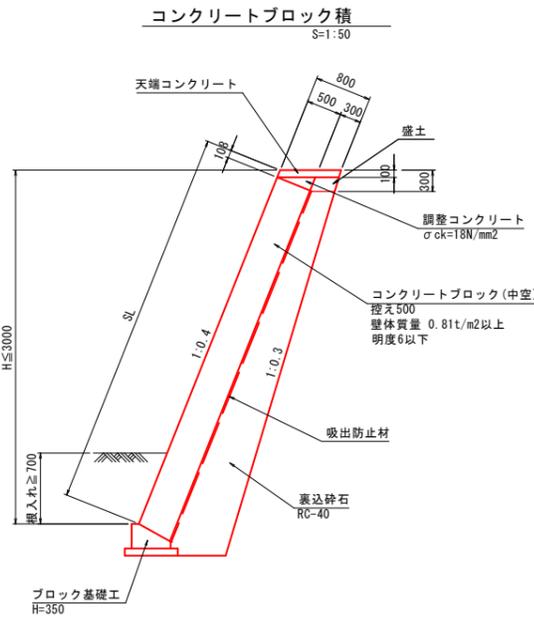


勾配	199.92	$i=1/25.2$ $L=15.14$	199.52	$i=1/8.5$ $L=21.840$
計画河床高		199.26	199.52	200.06
最深河床高		199.450	199.52	200.06
追加距離		0.000	5.000	9.000
単距離		0.000	5.000	4.000
測点	SECT0.0	SECT5.0	SECT9.0	



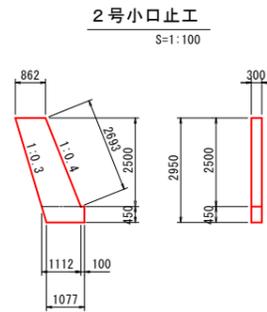
工事番号 45

図面番号		縮尺		図示	
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)				
種別	設計図	冊数	1/6		
路線名	岩伏川				
工事箇所	東広島市安芸津町				
東広島市					



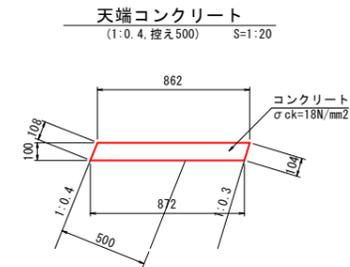
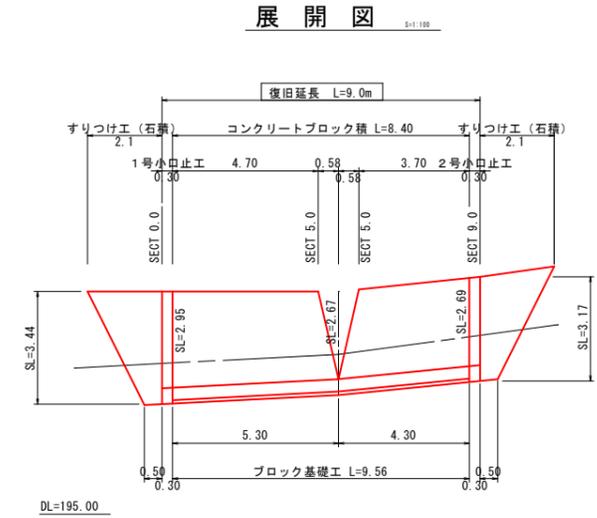
材料表 1ヶ所当り

種別	数量
コンクリート	0.979 m3
型枠	6.661 m2
化粧型枠	0.885 m2



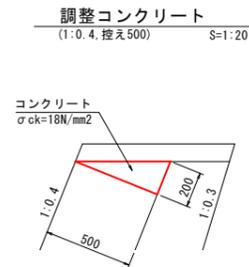
材料表 1ヶ所当り

種別	数量
コンクリート	0.895 m3
型枠	6.100 m2
化粧型枠	0.808 m2



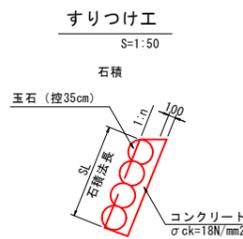
天端コンクリート 10m当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	0.867
型枠	一般型枠	m2	1.080



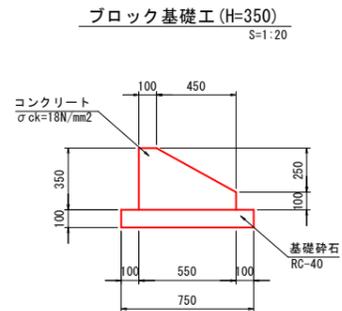
調整コンクリート 10m当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	0.500



材料表 10m2当り

種別	数量
玉石	2.11 m3
調整コンクリート	2.17 m3



ブロック基礎工(H=350) 10m当り材料表

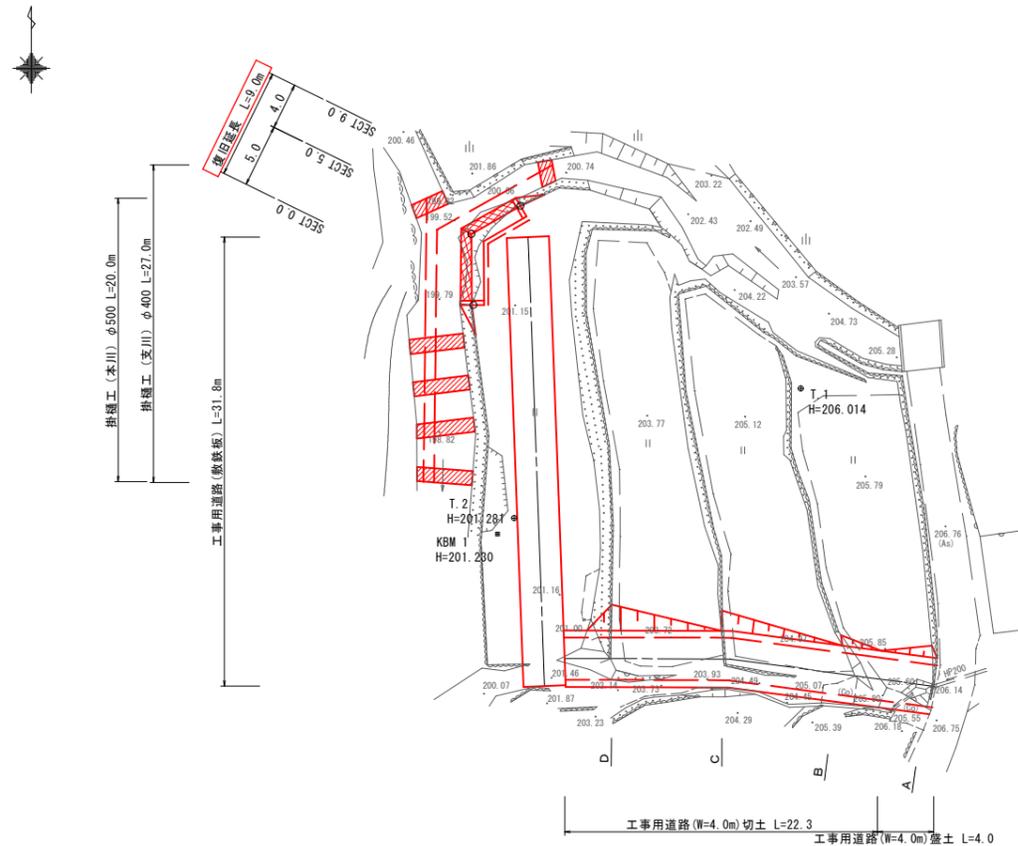
種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	1.363
型枠	一般型枠	m2	4.500
基礎砕石	RC-40, t=100	m2	7.500



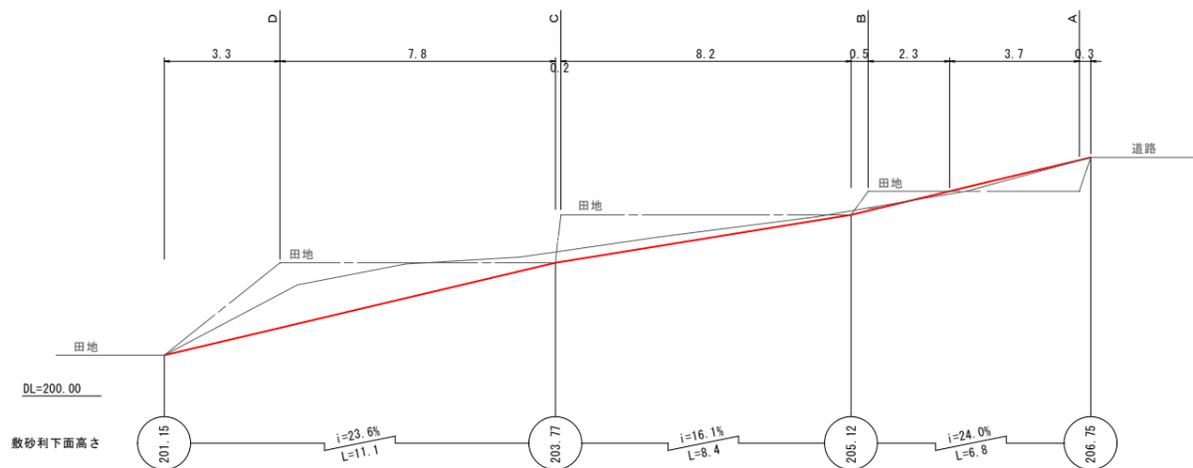
工事番号 45

図面番号	縮尺	図示
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)	
種別	設計図	第 2 / 6 号
路線名	岩伏川	
工事箇所	東広島市安芸津町	
東 広 島 市		

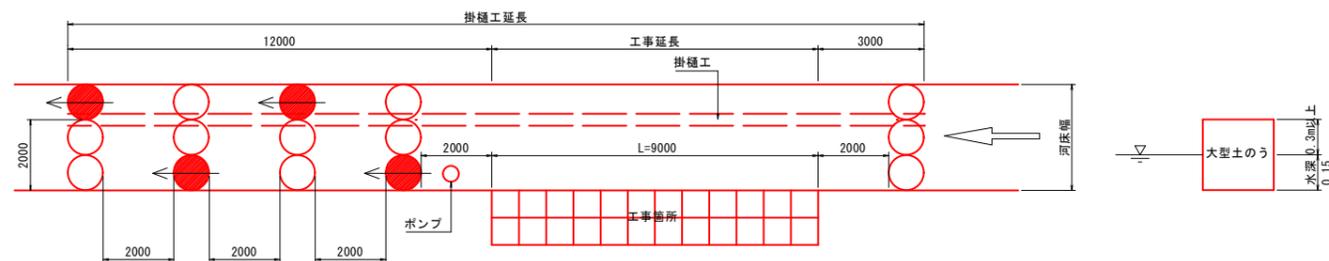
仮設工平面図 S=1:250



工事用道路 (W=4.0m) 縦断面図 S=1:100

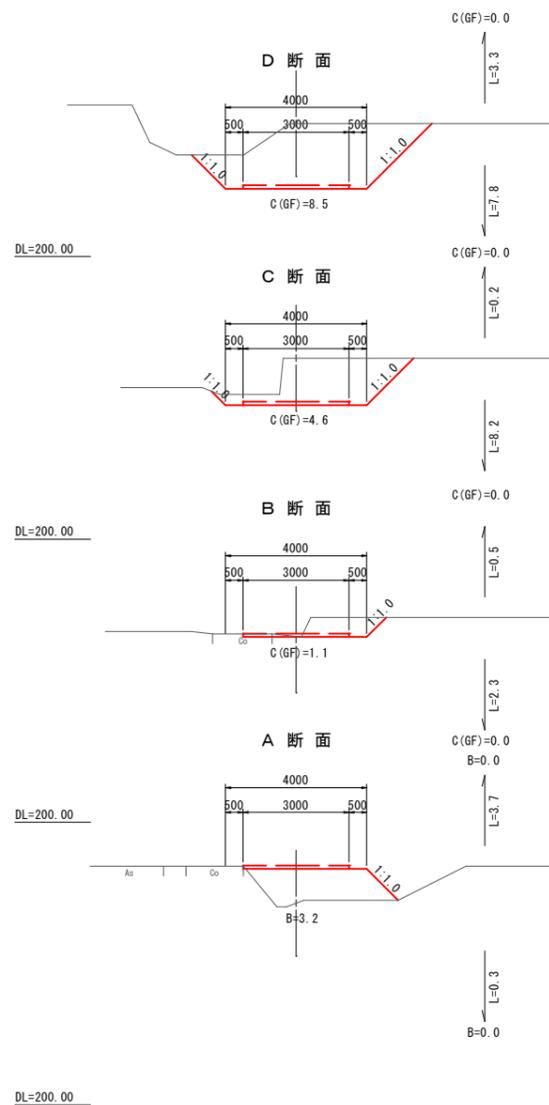


土留・仮締切工 (河床幅3m未満) (参考図)



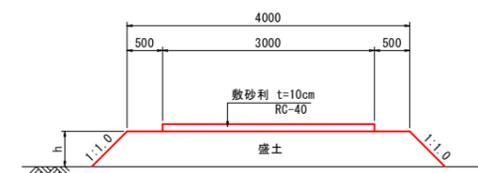
工事用道路 (W=4.0m) 横断面図 S=1:100

※ 田地切土は工事完了後に現況復旧すること



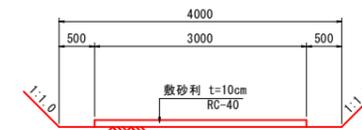
工事用道路 (W=4.0m) 参考図 S=1:50

盛土 (標準断面)

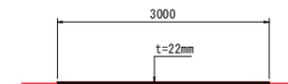


工事用道路 (W=4.0m) 参考図 S=1:50

切土 (標準断面)



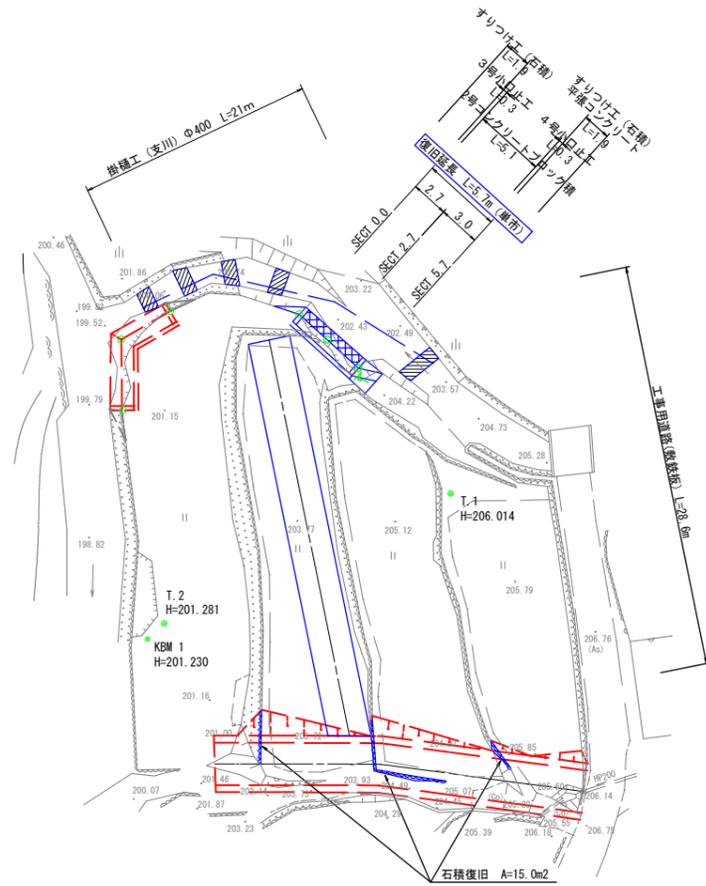
工事用道路 (敷鉄板) 参考図 S=1:50



工事番号 45

図面番号	縮尺	図示
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)	
種別	設計図	第3/6
路線名	岩伏川	
工事箇所	東広島市安芸津町	
東 広 島 市		

平面図 S=1:250



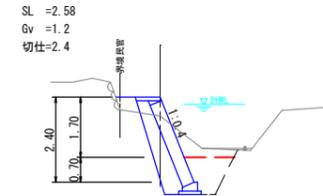
点名	X座標	Y座標	標高
T.1	-181949.775	59700.783	206.014
T.2	-181958.948	59680.513	201.281

点名	X座標	Y座標	標高
BSECT 0.0	-181937.084	59690.072	
BSECT 2.7	-181938.888	59692.052	
BSECT 5.7	-181940.902	59694.267	

横断面図 S=1:100

SECT 0.0

GH=202.85
FH=201.68 (河床)



3号小口止工
L=1.9

DL=200.00

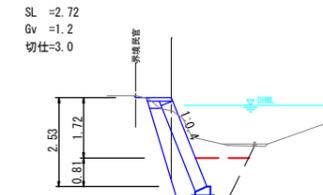
(SECT 0.0)
3号小口止工
SL = -2.58
Gv = 1.2

C (GF) = 1.5
B = 0.2
E (GF) = 1.9
Fu = 1.0
K (GF) = 0.6

2号プロック
L=2.4

SECT 2.7

GH=203.48
FH=202.08 (河床)



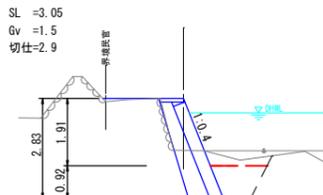
DL=200.00

2号プロック
L=2.7

C (GF) = 1.9
B = 0.1
E (GF) = 2.2
Fu = 1.1
K (GF) = 0.6

SECT 5.7

GH=204.40
FH=202.49 (河床)

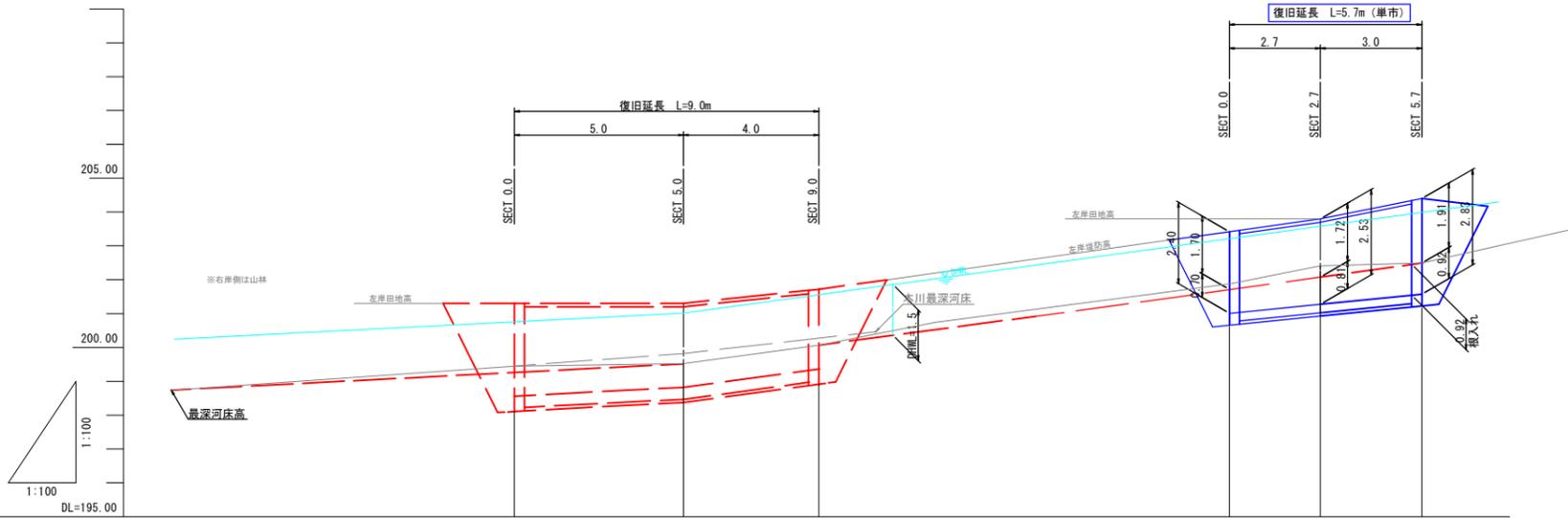


DL=200.00

4号小口止工
(SECT 6.0)

C (GF) = 0.8
B = 0.1
E (GF) = 2.5
Fu = 1.3
K (GF) = 0.6

縦断面図 V=1:100
H=1:100

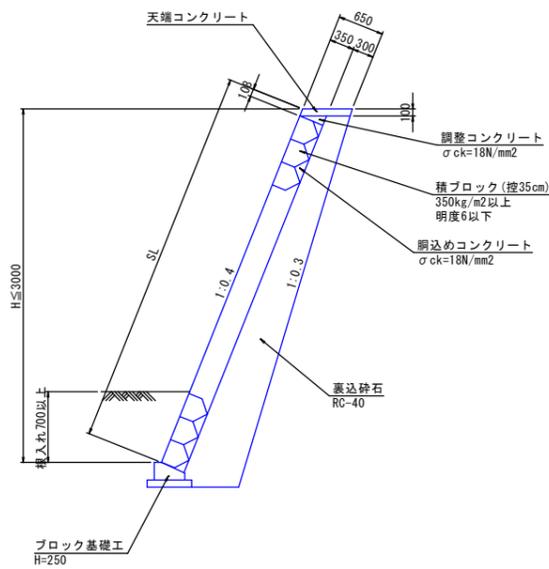


勾配	188.74	199.52	202.49
計画河床高	199.26	199.52	200.06
最深河床高	199.450	199.52	200.06
追加距離	0.000	5.000	9.000
単距離	0.000	5.000	4.000
測点	SECT 0.0	SECT 5.0	SECT 9.0

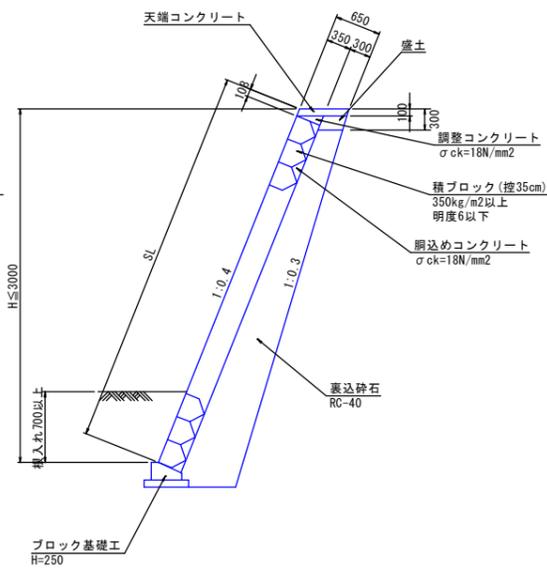
測点	SECT 0.0	SECT 2.7	SECT 5.7
計画河床高	201.71	202.08	202.49
最深河床高	201.91	202.41	202.49
追加距離	0.000	2.700	5.700
単距離	0.000	2.700	3.000
測点	SECT 0.0	SECT 2.7	SECT 5.7

図面番号	縮尺	図示
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)	
種別	設計図	4/6
路線名	岩伏川	
工事箇所	東広島市安芸津町	
東広島市		

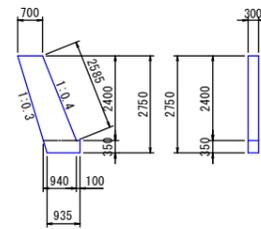
2号コンクリートブロック積
S=1:50



※背面部が田面になる場合



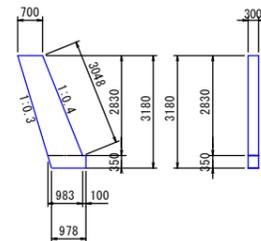
3号小口止工
S=1:100



材料表 1ヶ所当り

種別	数量
コンクリート	0.694 m3
型枠	4.732 m2
化粧型枠	0.776 m2

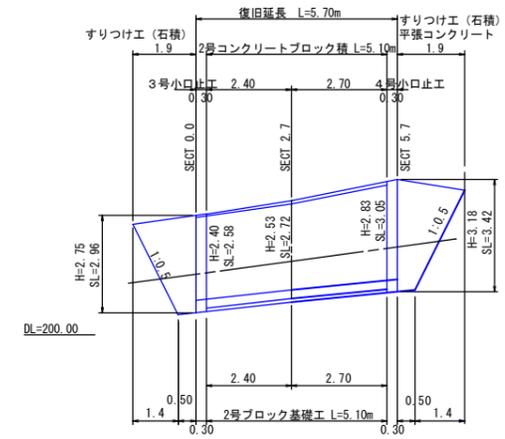
4号小口止工
S=1:100



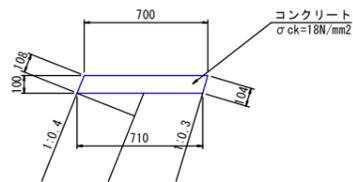
材料表 1ヶ所当り

種別	数量
コンクリート	0.823 m3
型枠	5.589 m2
化粧型枠	0.914 m2

展開図



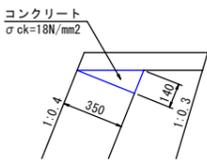
2号天端コンクリート
S=1:20



2号天端コンクリート 10m当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.705
型枠	一般型枠	m2	1.080

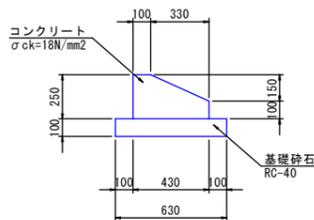
2号調整コンクリート
S=1:20



2号調整コンクリート 10m当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.245

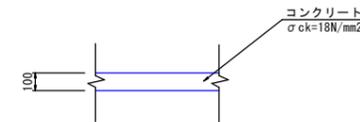
2号ブロック基礎工 (H=250)
S=1:20



2号ブロック基礎工 (H=250) 10m当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.828
型枠	一般型枠	m2	3.500
基礎砕石	RC-40	m2	6.300

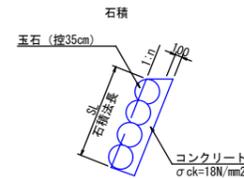
平張コンクリート
S=1:20



平張コンクリート 10m2当り材料表

種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.000

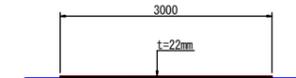
すりつけ工・石積復旧工
S=1:50



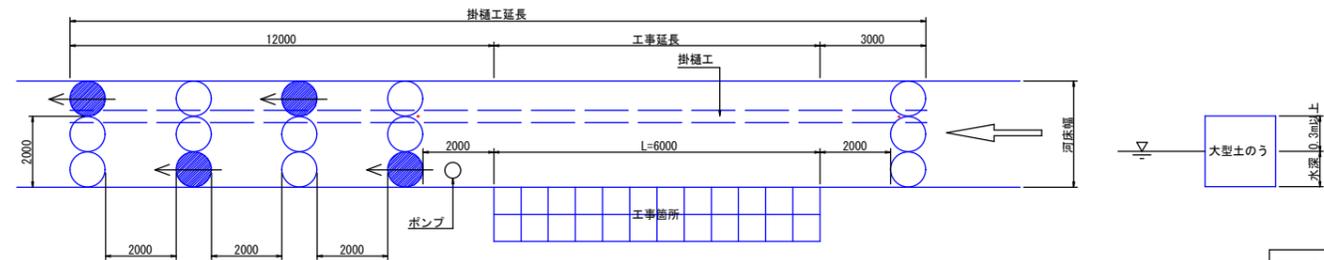
材料表 10m2当り

種別	数量
玉石	2.11 m3
鋼込コンクリート	2.17 m3

工事用道路 (敷鉄板) 参考図
S=1:50



土留・仮締切工 (河床幅3m未満) (参考図)



図面番号	縮尺	図示
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)	
種別	設計図	5/6
路線名	岩伏川	
工事箇所	東広島市安芸津町	
東広島市		

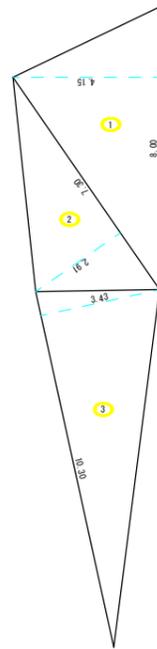
仮設撤去工 A箇所



仮設撤去工 B箇所

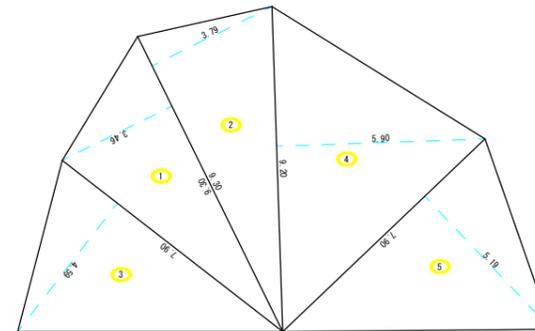


展開図 S=1:100



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	8.00	4.15	33.2000	16.60000
2	7.30	2.91	21.2430	10.62150
3	10.30	3.43	35.3290	17.66450
合計				44.88600
敷地面積				44.9 m ²
埋土量 (平均厚0.6m)				26.9 m ³
大型土のう撤去				20 袋

展開図 S=1:100

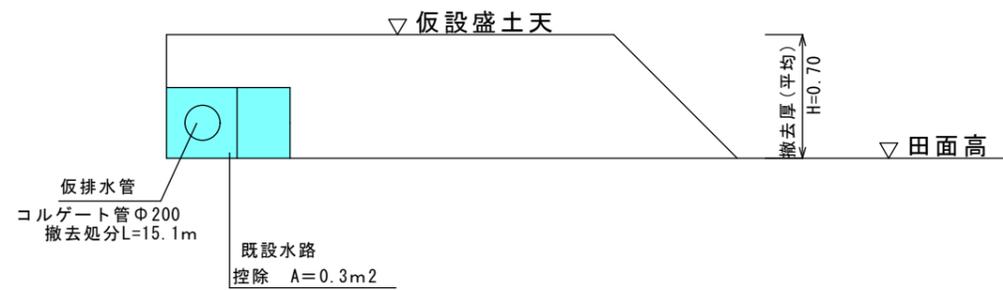


番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.30	3.46	32.1780	16.08900
2	9.30	3.79	35.2470	17.62350
3	7.90	4.59	36.2610	18.13050
4	9.20	5.90	54.2800	27.14000
5	7.90	5.19	41.0010	20.50050
合計				99.48350
敷地面積				99.5 m ²
埋土量 (平均厚0.7m)				69.65 m ³
控除 (0.3×15.1m)				4.53 m ³
埋土量 合計				65.1 m ³

断面図 S=1:20



断面図 S=1:20



図面番号	縮尺	図示
工事名	令和7年度 安芸津地区災害復旧工事 (7-2)	
種別	設計図	6/6
路線名	岩伏川	
工事箇所	東広島市安芸津町	
東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称：令和7年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(7-2)

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一
覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
(一時たい積)のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫 質土	株式会社中岡 建設リサイク ルプラント	東広島市安芸津町 木谷 1218-7	7.3km

- ・水替えについては次の日数を見込んでいる。
6日

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 51 東広島市(安芸津) 00-07.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費 岩伏川					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
	1	式			
河川土工					Y1A0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1A010101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂					Y1A01010101 レベル4
	30	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK24040001 00
	30	m3			単第0 -0001 表
盛土工					Y1A010103 レベル3
	1	式			
路体(築堤)盛土					Y1A01010301 レベル4
	2	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満					SPK24040004 00
	2	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形工					Y1A010106 レベル3
	1	式			
法面整形(切土部) 構造物背面部					Y1A01010601 レベル4
	40	m2			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK24040025 00
	40	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1A010108 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂					Y1A01010802 レベル4
	160	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)					SPK24040002 00
	160	m3			単第0 -0004 表
残土等処分 土砂					Y1A01010803 レベル4
	160	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 株式会社中岡建設リサイクルプラント					F000000100 00
	160	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
護岸基礎工					Y1A0105 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1A010501 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1A01050102 レベル4
	30	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00
	30	m3			単第0 -0005 表
埋戻し 土砂					Y1A01050103 レベル4
	20	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)					SPK24040007 00
	20	m3			単第0 -0006 表
法覆護岸工					Y1A0107 レベル2
	1	式			
Coブロック工(Coブロック積)					Y1A010703 レベル3
	1	式			
大型ブロック積 コンクリートブロック積 ブロック積(空積)控長50cm					Y1A01070306 レベル4
	22	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型ブロック積 ブロック2,000kg/個以下 水抜きパイプ無し ブロック積(空積) 控長50cm	22	m2			SPK24040037 00 単第0 -0007 表
2号コンクリートブロック積 粗面ブロック	14	m2			Y1A01070305レベル4
2号コンクリートブロック積工(練積) 粗面ブロック 18-8-40BB	14	m2			SDT00039 00 単第0 -0008 表
胴込(砕石) 割ぐり石 150~50mm	6	m3			Y1A01070308レベル4
胴込・裏込材(砕石) 大型ブロック 割ぐり石 150~50mm	6	m3			SPK24040045 00 単第0 -0009 表
吸出し防止材(全面)設置 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	22	m2			Y1A01070309レベル4
吸出し防止材(全面)設置 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	22	m2			SPK24040047 00 単第0 -0010 表
胴込・裏込材(砕石) RC-40	18	m3			Y1A01070308レベル4
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	18	m3			SPK24040045 00 単第0 -0011 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
天端コンクリート 1:0.4, 控え500 ck=18N/mm2	8	m			Y4999 レベル4
天端コンクリート 1:0.4 控え500	8	m			V00000200 00 単第0 -0012 表
2号天端コンクリート 1:0.4 控え350 ck=18N/mm2	5	m			Y4999 レベル4
2号天端コンクリート 1:0.4 控え350	5	m			V00000800 00 単第0 -0014 表
調整コンクリート 1:0.4 ck=18N/mm2	8	m			Y4999 レベル4
調整コンクリート 1:0.4 控え500	8	m			V00000300 00 単第0 -0015 表
2号調整コンクリート 1:0.4 控え350 ck=18N/mm2	5	m			Y4999 レベル4
2号調整コンクリート 1:0.4 控え350	5	m			V00000900 00 単第0 -0017 表
基礎工	1	式			Y1A010503 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打基礎 W=550,H=350 ck=18N/mm2	10	m			Y1A01050301 レベル4
現場打基礎コンクリート W=550,H=350	10	m			V000000100 00 単第0 -0018 表
2号現場打基礎 W=430,H=250 ck=18N/mm2	5	m			Y1A01050301 レベル4
2号現場打基礎コンクリート W=430,H=250	5	m			V000000700 00 単第0 -0020 表
護岸付属物工	1	式			Y1A010708 レベル3
1号小口止工 B=300,H=3190 ck=18N/mm2	1	箇所			Y1A01070803 レベル4
1号小口止工 B=300,H=3190	1	箇所			V000000400 00 単第0 -0021 表
2号小口止工 B=300,H=2950 ck=18N/mm2	1	箇所			Y1A01070803 レベル4
2号小口止工 B=300,H=2950	1	箇所			V000000500 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
3号小口止工 B=300,H=2750 ck=18N/mm2	1	箇所			Y1A01070803レベル4
3号小口止工 B=300,H=2750	1	箇所			V000001000 00 単第0 -0026 表
4号小口止工 B=300,H=3180 ck=18N/mm2	1	箇所			Y1A01070803レベル4
4号小口止工 B=300,H=3180	1	箇所			V000001100 00 単第0 -0027 表
すり付け工 練石積 控え35cm	16	m2			Y4999 レベル4
すり付け工 控え35cm	16	m2			V000000600 00 単第0 -0028 表
平張コンクリート ck=18N/mm2	1	m2			Y4999 レベル4
平張コンクリート t=100mm	1	m2			V000001300 00 単第0 -0031 表
雑工	1	式			Y2999 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設盛土撤去工					Y3999 レベル3
	1	式			
掘削 土砂					Y4999 レベル4
	100	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK24040001 00
	100	m3			単第0 -0001 表
大型土のう撤去					Y4999 レベル4
	20	袋			
大型土のう撤去 作業半径 6m以下					SHD10011 00
	20	袋			単第0 -0032 表
仮排水管撤去					Y4999 レベル4
	15	m			
暗渠排水管 撤去 波状管及び網状管 200～400mm					SPK24040092 00
	15	m			単第0 -0034 表
運搬処理工					Y3999 レベル3
	1	式			
現場発生品運搬・処分					Y4999 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック 2 t積・2 t吊 片道運搬距離 16.3km	1	回			SQ601 00 単第0 -0035 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック 2 t積・2 t吊 片道運搬距離 11.4km	1	回			SQ601 00 単第0 -0037 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃プラスチック処分費 仮管類 有限会社トラスト	0.6	m3			F00000400 00
廃プラスチック処分費 耐候性フレコンパック 有限会社トラスト	0.2	m3			F00000500 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1A011501 レベル3
工事用道路盛土(斜路)	6	m3			Y1A01150101 レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	6	m3			SPK24040004 00 単第0 -0038 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	7	m3			SPK24040002 00 単第0 -0039 表
補足土(処理土 ほぐし) リフレ安芸津事業所	9	m3			F000000200 00
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	7	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
工用道路盛土(田地)	68	m3			Y4999 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	68	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	68	m3			SPK24040007 00 単第0 -0006 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	68	m3			SPK24040004 00 単第0 -0038 表
整地 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満) 障害無し	8	m3			SPK24040003 00 単第0 -0040 表
再生クラッシュラン 40~0mm	8	m3			T0247 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	8	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
敷鉄板	181	m2			Y1A01150104レベル4
敷鉄板設置	181	m2			S1050041 00 単第0 -0041 表
敷鉄板撤去	181	m2			S1050043 00 単第0 -0043 表
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 賃貸期間12日	21	枚			S1050029 00 単第0 -0044 表
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 賃貸期間10日	19	枚			S1050029 00 単第0 -0045 表
石積復旧工	1	式			Y3999 レベル3
石積復旧工	15	m2			Y4999 レベル4
すり付け工 控え35cm	15	m2			V000000600 00 単第0 -0028 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留・仮締切工					Y1A011504 レベル3
	1	式			
大型土のう設置・撤去					Y1A01150419レベル4
	15	袋			
大型土のう製作・設置(BH設置)					SHD10003 00
	9	袋			単第0 -0046 表
大型土のう設置 作業半径 6mを超え20m以下					SHD10009 00
	6	袋			単第0 -0048 表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下					SHD10011 00
	15	袋			単第0 -0032 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)					SPK24040002 00
	8	m3			単第0 -0039 表
補足土(処理土 ほぐし) リフレ安芸津事業所					F000000200 00
	9	m3			
水替工					Y1A011506 レベル3
	1	式			
ポンプ排水					Y1A01150601レベル4
	6	日			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ設置・撤去	2	箇所			SHD10037 00 単第0 -0049 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水	6	日			S1050031 00 単第0 -0051 表
仮水路工	1	式			Y1A011508 レベル3
架樋工（支川）	48	m			Y1A01150803 レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径400mm	48	m			SPK24040092 00 単第0 -0054 表
架樋工（本川）	20	m			Y1A01150803 レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径500mm	20	m			SPK24040092 00 単第0 -0055 表
残土処理工	1	式			Y1A010108 レベル3
土砂等運搬 土砂	10	m3			Y1A01010802 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	10	m3			SPK24040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 土砂	10	m3			Y1A01010803レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 株式会社中岡建設リサイクルプラント	10	m3			F000000100 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	16.842	t			YZZ04001004レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 4.9km 製品長 12m以内	1	式			S100007 00 単第0 -0056 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

掘削

SPK24040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 27.26% 労務構成比:

61.70%

材料構成比: 11.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,212.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員2.5m未満

SPK24040004

単第0 -0002 表

1
 標準単価: m3 当り
 6,330.20000

機械構成比: 0.70% 労務構成比: 99.06% 材料構成比: 0.24% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

法面整形

SPK24040025

単第0 -0003 表

切土部 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 9.71%

労務構成比:

80.61%

材料構成比: 9.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

874.32000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	9.71%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	19.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0004 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,119.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0005 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK24040007

単第0 -0006 表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 27.26%

労務構成比:

61.70%

材料構成比: 11.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,068.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

大型ブロック積

SPK24040037

単第0 -0007 表

ブロック2,000kg/個以下 水抜きパイプ無し

ブロック積(空積) 控長50cm

1

m2 当り

機械構成比: 2.71%

労務構成比: 17.36%

材料構成比: 79.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,627.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.71%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
運転手(特殊)	5.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ブロック工	3.36%		ブロック工		RTPC00005 RTPT00005
土木一般世話役	2.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ブロック積(空積) 控長50cm 2,000kg/個以下	77.19%		大型積ブロック 控500mm		TTPC00273 TTPT00273
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.74%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

2号コンクリートブロック積工(練積)
粗面ブロック

SDT00039

単第0 -0008 表

18-8-40BB

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-粗面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB I=2 粗面ブロック L=1 時間的制約なし			B=2 E=2 K=8.5		裏込コンクリートを施工しない場合 小型車割増有 ブロックm2当り使用量(個/m2)

施工単価表

胴込・裏込材(砕石)

SPK24040045

単第0 -0009 表

大型ブロック

割ぐり石 150～50mm

1

m3 当り

機械構成比: 6.97%

労務構成比:

54.68%

材料構成比:

38.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,834.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	6.97%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	31.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	13.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.66%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
割ぐり石 150～50mm	35.35%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00006 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.00%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 大型ブロック			B=3 割ぐり石 150～50mm		

施工単価表

胴込・裏込材(碎石)

SPK24040045

単第0 -0011 表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68% 労務構成比:

66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,906.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	9.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	34.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	19.63%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0033

現場打天端コンクリート

SPK24040052

単第0 -0013 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

労務構成比:

64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

60,947.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.63%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.70%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	31.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0016 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0041

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

単第0 -0019 表

18-8-40BB

基礎砕石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

労務構成比:

68.05%

材料構成比:

29.71%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

76,045.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	1.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.66%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	18.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	17.71%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊作業員	10.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	25.18%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0045

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0022 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

労務構成比:

37.88%

材料構成比:

58.43%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,650.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0023 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,483.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0024 表

化粧型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

11,537.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	32.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 化粧型枠 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

石積(張)

SPK24040063

単第0 -0029 表

積工

練石 玉石

1

m2 当り

機械構成比: 7.13%

労務構成比:

89.53%

材料構成比: 3.34%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

11,907.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.13%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	44.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	25.59%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	14.91%		石工		RTPC00017 RTPT00017
土木一般世話役	4.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.34%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 積工 C=1 玉石			B=1 練石		

施工単価表

胴込・裏込コンクリート_石積(張)

SPK24040065

単第0 -0030 表

積工

18-8-40BB

1

m3 当り

機械構成比: 1.99% 労務構成比:

29.96%

材料構成比: 68.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,948.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.99%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	11.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	7.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	67.12%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 積工 D=2 小型車割増有			B=2 18-8-40BB		

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員4.0m以上

SPK24040004

単第0 -0038 表

施工数量20,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 17.97% 労務構成比:

66.93% 材料構成比: 15.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

231.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0039 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,943.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

整地
敷均し(ルーズ)

SPK24040003

単第0 -0040 表

標準(10,000m3未満) 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 22.78% 労務構成比:

50.89% 材料構成比: 26.33%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

126.86000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	22.78%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	50.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	26.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ) C=1 障害無し			B=1 標準(10,000m3未満)		

施工単価表

敷鉄板設置

S1050041

単第0 -0041 表

頁0 -0066

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			
とび工	0.152	人			
普通作業員	0.152	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			単第0-0042 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0046 表

頁0 -0071

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第0-0047 表
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1	土砂の計上なし	

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0054 表

据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径400mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 8.31%

材料構成比: 91.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,009.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	5.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径400mm	91.69%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0274 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=37 シングル 合成樹脂排水材 呼び径400mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0055 表

据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径500mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 5.57%

材料構成比: 94.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

13,537.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	3.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径500mm	94.43%		暗渠排水管 波状管 呼び径500mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPC00192 TTPT00192
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=3 450～600mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=39 シングル 合成樹脂排水材 呼び径500mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	合計数量	箇所別数量			摘要
								45_岩伏川	岩伏川B箇所		
	法覆護岸工										
	コンクリート ブロック積工										
		コンクリート ブロック積	中空型	壁体質量 0.81t/m2	m2	22	22.2	22.2			栗石 A×0.265(m3/m2) 22.2×0.265=5.8m3
		2号コンクリート ブロック積	間地ブロック	控35cm	m2	14	13.6		13.6		
		天端コンクリート	天端コンクリート	1:0.4,控え500	m	8	8.4	8.4			
		2号天端 コンクリート	天端コンクリート		m	5	5.1		5.1		
		調整コンクリート	調整コンクリート	1:0.4	m	8	8.4	8.4			
		2号調整 コンクリート	調整コンクリート		m	5	5.1		5.1		
		裏込材	RC-40		m3	18	17.9	11.1	6.8		
		吸出し防止材			m2	22	21.6	21.6			
		基礎工	現場打基礎	W=550,H=350	m	10	9.6	9.6			
			2号現場打基礎	W=430,H=250	m	5	5.1		5.1		
	護岸付属物工										
		小口止工	1号小口止工	B300,H=3190	箇所	1	1.0	1.0			0.979m3
			2号小口止工	B300,H=2950	箇所	1	1.0	1.0			0.895m3
			3号小口止工	B300,H=2750	箇所	1	1.0		1.0		0.694m3
			4号小口止工	B300,H=3180	箇所	1	1.0		1.0		0.823m3
		すり付け工	練石積	控え35cm	m2	16	16.3	8.6	7.7		

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	合計数量	箇所別数量			摘要
								45_岩伏川	岩伏川B箇所		
			玉石体積	φ 350内外	m3	3	3.4	1.8	1.6		V=0.211m3/m2
			胴込コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	4	3.6	1.9	1.7		V=0.217m3/m2
		平張コンクリート		t=100	m2	1	1.1		1.1		
	雑工										
	仮設盛土撤去	撤去工	掘削	土砂	m3	30	27.0		27.0		A箇所
				土砂	m3	70	65.0		65.0		B箇所
			大型土のう		袋	20	20.0		20.0		A箇所箇所
			仮排水管	Φ 200	m	15	15.1		15.1		B箇所
			廃プラ処分	大型土のう袋	m3	0.2	0.2		0.2		B箇所
				コルゲート管	m3	0.6	0.6		0.6		B箇所
	仮設工										
	仮設工	土留・仮締切工	掛樋工	ポリ管 φ 400	m	48	47.7	27.0	20.7		
			掛樋工	ポリ管 φ 500	m	20	20.0	20.0			
			仮締切	大型土のう	袋	5	5.0	5.0			
				大型土のう	袋	4	4.0		4.0		B箇所 転用設置・撤去
			濁水処理	大型土のう	袋	4	4.0	4.0			
				大型土のう	袋	2	2.0		2.0		B箇所 転用設置・撤去
			大型土のう	購入土	m3	9	9.0	9.0			× 1.00 ほぐし土量

令和6年災害 東広島市公共災害

工 事 費 内 訳

45_岩伏川(谷岡宅南)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	計上数量	数 量	摘 要
本工事費	河川土工							
	掘削工							
		掘削		礫質土	m3	20	20.3	
	盛土工							
		盛土工	築堤盛土	W<2.5m	m3	0.9	0.9	
	法面整形工							
		法面整形 (切土部)	機械	礫質土	m2	30	27.8	
	残土処理工							
		残土処理		礫質土	m3	30	30.8	(本工事)
	護岸基礎工							
	作業土工							
		床掘		礫質土	m3	20	21.8	
	埋戻	バックホウ埋戻	C	m3	10	10.3		
	基面整正		礫質土	m2	7	7.2		

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	数量	摘要
	法覆護岸工							
	コンクリート ブロック積工							
		コンクリート ブロック積	中空型	壁体質量 0.81t/m2	m2	22	22.2	栗石 A×0.265(m3/m2) 22.2×0.265=5.8m3
		天端コンクリート	天端コンクリート	1:0.4,控え500	m	8	8.4	
		調整コンクリート	調整コンクリート	1:0.4	m	8	8.4	
		裏込材	RC-40		m3	11	11.1	
		吸出し防止材			m2	22	21.6	
		基礎工	現場打基礎	W=550,H=350	m	10	9.6	
	護岸付属物工							
		小口止工	1号小口止工	B300,H=3190	箇所	1	1.0	0.979m3
			2号小口止工	B300,H=2950	箇所	1	1.0	0.895m3
		すり付け工	練石積	控え35cm	m2	9	8.6	
			玉石体積	φ350内外	m3	1.8	1.8	V=0.211m3/m2
			胴込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.9	1.9	V=0.217m3/m2
	仮設工							
	仮設工	土留・仮締切工	掛樋工	ポリ管φ400	m	27	27.0	

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	数量	摘要
			掛樋工	ポリ管φ500	m	20	20.0	
			仮締切	大型土のう	袋	5	5.0	
			濁水処理	大型土のう	袋	4	4.0	
			大型土のう	購入土	m3	9	9.0	×1.00 ほぐし土量
		工事用道路	盛土(斜路)	敷均し	m3	6	6.4	
			〃	流用土	m3	9	8.5	×1.33 ほぐし土量
			切土		m3	68	68.2	
			盛土(田地)		m3	68	68.2	田地現況復旧
			敷砂利	RC-40 W=3.0m,t=10cm	m	26	26.3	
			〃		m2	79	78.9	
			〃		m3	8	7.9	現地仮設流用
			敷鉄板	W=3.0	m	32	31.8	
		撤去工						
			斜路(盛土)	撤去	m3	7	7.1	処分(土配表より)
			工事用道路 (碎石)	撤去	m3	8	7.9	処分(土配表より)

令和6年災害 東広島市河川災害復旧

工 事 費 内 訳

岩伏川(谷岡宅南)B箇所 単災

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	計上数量	数 量	摘 要
本工事費	河川土工							
	掘削工							
		掘削		礫質土	m3	9	8.7	
	盛土工							
		盛土工	築堤盛土	W<2.5m	m3	0.7	0.7	
	法面整形工							
		法面整形 (切土部)	機械	礫質土	m2	20	16.2	
	残土処理工							
		残土処理		礫質土	m3	130	133.0	
				礫質土	m3	130	133.0	
	護岸基礎工							
	作業土工							
		床掘		礫質土	m3	10	12.6	
	埋戻	バックホウ埋戻	C	m3	6	6.4		
	基面整正			m2	3	3.4		

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	数量	摘要
	雑工							
	仮設盛土撤去	撤去工	掘削	土砂	m3	30.0	27.0	A箇所
				土砂	m3	70.0	65.0	B箇所
			大型土のう		袋	20.0	20.0	A箇所箇所
			仮排水管	Φ200	m	15.0	15.1	B箇所
			廃プラ処分	大型土のう袋	m3	0.2	0.2	B箇所
				コルゲート管	m3	0.6	0.6	B箇所
	仮設工							
	仮設工	土留・仮締切工	掛樋工	ポリ管φ400	m	21	20.7	
			仮締切	大型土のう	袋	4	4.0	転用設置・撤去
			濁水処理	大型土のう	袋	2	2.0	転用設置・撤去
			大型土のう	設置・撤去のみ	m3	6	6.0	
		工事用道路	敷鉄板	W=3.0	m	29	28.6	転用設置・撤去
		石積復旧工						
			練石積	控え35cm	m2	15	15.0	
	供用日数				日	10	10.0	

土量配分表

掘削土		
掘削	礫質土	20.3 m3
床掘	"	21.8 m3
		m3
計		42.1 m3

土量変化率 0.9

盛土		
盛土	レキ質土	0.9 m3

$$0.9 \div 0.9 = 1.0 \text{ m}^3$$

土量変化率 1.0

埋戻土		
埋戻	レキ質土	10.3 m3

$$10.3 \div 1.0 = 10.3 \text{ m}^3$$

残土処分		
計	礫質土	30.8 m3
	仮設工	14.9 m3

仮設工残土処分		
工事用道路	(斜路)流用	6.4 m3
大型土のう	流用	9 袋
敷砂利	処分	7.9 m3
工事用道路	掘削(流用)	68.2 m3
	復旧盛土	68.2 m3

$$6.4 \div 0.9 = 7.1 \text{ m}^3$$

$$9.0 \div 1.2 = 7.5 \text{ m}^3$$

工事用道路復旧盛土

$$68.20 \div 0.9 = 75.8 \text{ m}^3$$

30.8 m3

測点	距離	床掘E(GF)			埋戻Fu(C)			基面整正K(GF)						摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
SECT, 0.0		2.4			1.1			0.8						
SECT, 5.0	5.0	2.3	2.35	11.8	1.1	1.10	5.5	0.8	0.80	4.0				
SECT, 9.0	4.0	2.7	2.50	10.0	1.3	1.20	4.8	0.8	0.80	3.2				
合計	9.0			21.8			10.3			7.2				

測 点	距 離	ブロック法長(SL)			裏込碎石(Gv)			吸出し防止材						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.95			1.4			2.9						
SECT, 5.0	4.7	2.67	2.81	13.2	1.3	1.35	6.3	2.6	2.75	12.9				
SECT, 9.0	3.7	2.69	2.68	9.9	1.3	1.30	4.8	2.6	2.60	9.6				
天端コン控除		0.108 × 8.4 =		-0.9				0.108 × 8.4 =		-0.9				
合 計	8.4			22.2			11.1			21.6				

45_岩伏川(谷岡宅南)

工 事 用 道 路

計 算 書

(11 / 11)

測 点	距 離	切 土			盛 土			敷砂利 t=10cm			敷鉄板			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
					0.0			3.0						
A	0.3				3.2	1.60	0.5	3.0	3.00	0.9				
	3.7				0.0	1.60	5.9	3.0	3.00	11.1				
		0.0						3.0	3.00					
B	2.3	1.1	0.55	1.3				3.0	3.00	6.9				
	0.5	0.0	0.55	0.3				3.0	3.00	1.5				
		0.0	0.00					3.0	3.00					
C	8.2	4.6	2.30	18.9				3.0	3.00	24.6				
	0.2	0.0	2.30	0.5				3.0	3.00	0.6				
		0.0	0.00					3.0	3.00					
D	7.8	8.5	4.25	33.2				3.0	3.00	23.4				
	3.3	0.0	4.25	14.0				3.0	3.00	9.9				
													31.8	
										m ² 78.9				
合 計	26.3 ^m			m ³ 68.2			m ³ 6.4			m ³ 7.9			m 31.8	

工 事 費 内 訳

岩伏川(谷岡宅南)B箇所 単災

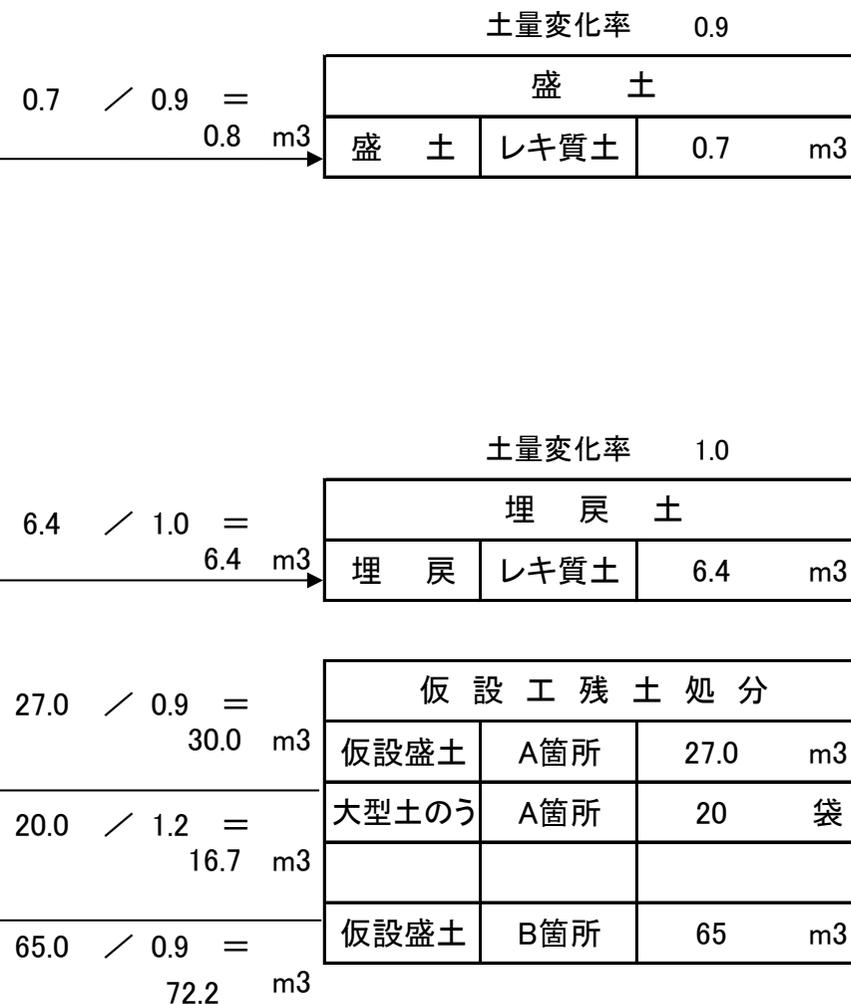
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	計上数量	数 量	摘 要	
本工事費	河川土工								
	掘削工								
			掘削		礫質土	m3	9	8.7	
	盛土工								
			盛土工	築堤盛土	W<2.5m	m3	0.7	0.7	
	法面整形工								
			法面整形 (切土部)	機械	礫質土	m2	20	16.2	
	残土処理工								
			残土処理		礫質土	m3	130	133.0	
	護岸基礎工								
	作業土工								
			床掘		礫質土	m3	10	12.6	
		埋戻	バックホウ埋戻	C	m3	6	6.4		
		基面整正			m2	3	3.4		

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	数量	摘要
	雑工							
	仮設盛土撤去	撤去工	掘削	土砂	m3	30.0	27.0	A箇所
				土砂	m3	70.0	65.0	B箇所
			大型土のう		袋	20.0	20.0	A箇所箇所
			仮排水管	Φ200	m	15.0	15.1	B箇所
			廃プラ処分	大型土のう袋	m3	0.2	0.2	B箇所
				コルゲート管	m3	0.6	0.6	B箇所
	仮設工							
	仮設工	土留・仮締切工	掛樋工	ポリ管φ400	m	21	20.7	
			仮締切	大型土のう	袋	4	4.0	転用設置・撤去
			濁水処理	大型土のう	袋	2	2.0	転用設置・撤去
			大型土のう	設置・撤去のみ	m3	6	6.0	
		工事用道路	敷鉄板	W=3.0	m	29	28.6	転用設置・撤去
		石積復旧工						
			練石積	控え35cm	m2	15	15.0	
	供用日数				日	10	10.0	

土量配分表

掘削土			
掘削	礫質土	8.7	m3
床掘	〃	12.6	m3
			m3
計		21.3	m3

残土処分			
小計	礫質土 本工事+仮設A	60.8	m3
	礫質土 仮設B	72.2	m3
合計	礫質土 仮設B	133.0	m3



測 点	距 離	床掘E(GF)			埋戻Fu			基面整正K(GF)						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.9			1.0			0.6						
SECT, 2.7	2.7	2.2	2.05	5.5	1.1	1.05	2.8	0.6	0.60	1.6				
SECT, 5.7	3.0	2.5	2.35	7.1	1.3	1.20	3.6	0.6	0.60	1.8				
合 計	5.7			12.6			6.4			3.4				

測 点	距 離	ブロック法長(SL)			裏込碎石(Gv)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.58			1.2									
SECT, 2.7	2.4	2.72	2.65	6.4	1.3	1.25	3.0							
SECT, 5.7	2.7	3.05	2.89	7.8	1.5	1.40	3.8							
天端コン控除		0.108 × 5.1 =		-0.6										
合 計	5.1			13.6			6.8							

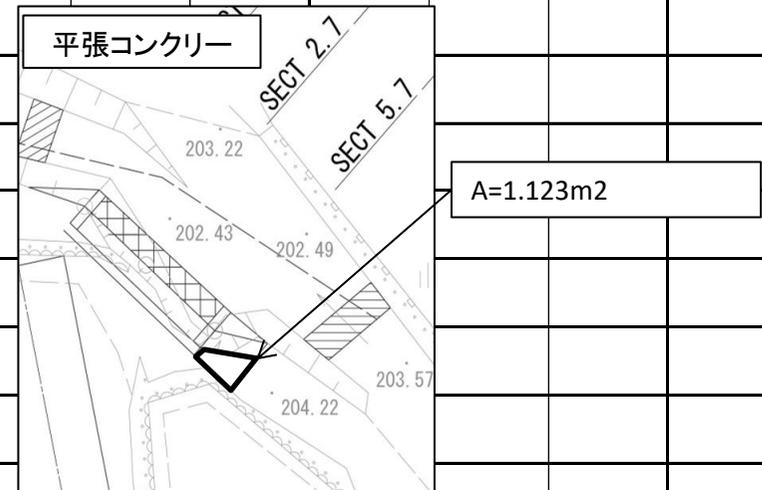
岩伏川(谷岡宅南)B箇所 単災

小口止工

(6 / 12)

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
3号小口止工	H=2.75	1	1 ヶ所	0.694m3
4号小口止工	H=3.18	1	1 ヶ所	0.823m3
合 計				

測 点	距 離	練石積			平張コンクリート			断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量							
		0.00												
	1.4	2.96	1.48	2.1										
SECT, 0.0	0.5	2.96	2.96	1.5										
SECT, 5.7		3.42												
	0.5	3.42	3.42	1.7										
	1.4	0.00	1.71	2.4						1.1				
					参考図添付									
合 計	3.8			7.7						1.1				



岩伏川(谷岡宅南)B箇所 単災

掛 樋 工

(8 / 12)

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
掛樋工	ポリ管φ400	12.0 + 5.7 + 3.0	20.7 m	W=3.0m未満
合 計			20.7 m	

岩伏川(谷岡宅南)B箇所 単災

大型土のう(濁水処理)

(10 / 12)

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
土留・仮締切工	大型土のう	$1.7 \times 3 \times (0.15 + 0.3) \div (1.10 \times 1.08) = 1.9 \approx$	2	W=3.0m未満
合 計		=	2.0	
		≈	2 袋	

測 点	距 離	敷鉄板						石積復旧工						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
平面図より				28.6						15.0				
合 計				28.6 ^m						15.0 ^{m²}				

